

特別の教科 道徳
「手話教室」

逗子市立逗子中学校



単元（題材）目標

- 聴覚障がいを知り、障がいを近くに感じられるようにする。（道徳：寛容）
- 手話に興味を持ち、聴覚障がいを理解する。（道徳：相互理解）

（1）実施時期

令和元年12月中旬～令和2年1月上旬

（2）対象（学年等・人数）

第3学年118名（各クラス毎3回実施）

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭 1名

（4）実施内容

- 耳が聞こえないとは
- なぜ手話が必要なのか
- 手話体験 あいさつ・指文字・自己紹介
- 聴覚障がい者がしてほしいこと
- 振り返りの記入

（5）成果

- 手話に興味を持ち、指文字を使って自己紹介ができるようになった。
- 聴覚障がいを知り、「あきらめずに」伝えることの大切さを理解した。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- ・身内に耳の聞こえない人がいるので、今度自己紹介してみようと思った。
- ・耳の聞こえない人の生活は大変だけど、伝わると嬉しくなるからもっと覚えたい。
- ・手話も一つの言語であり、覚えるべきものだと思った。
- ・理解するのは難しいけれど、聴覚障がいの人たちが過ごしやすくなったらいいと思った。
- ・耳の聞こえない人がいたら、あきらめずに伝えようと思った。